



## 滋賀県道路整備アクションプログラムの見直しに向けた地域ワーキングを開催

このたび滋賀県では、平成30年3月に公表した『滋賀県道路整備アクションプログラム2018』の見直しを実施することになりました。高島土木事務所では、12月14日に第4回高島地域ワーキングを開催しました。

## ◆◆◆ 第4回地域ワーキング開催概要 ◆◆◆

【日時】 令和4年12月14日（水）  
10:00～12:00

【場所】 高島合同庁舎 2階2-A会議室

## ▶ 地域ワーキングの目的

高島土木事務所管内の地域課題を抽出し、その課題を踏まえた今後の道路整備について、色々な立場の方から意見をいただくことを目的とする。



## アクションプログラム策定スケジュール

第1回  
ワーキング

5年間を振り返り、地域の道路、交通の問題点や課題等についてご意見をいただきました。

第2回  
ワーキング

第1回WGでいただいた意見に基づき、「地域の声(案)」「地域の重点項目(案)」を作成、提示し、意見をいただきました。

第3回  
ワーキング

「地域の声」「地域の重点項目」の報告、地域の課題を解消する事業中箇所を提示し、意見をいただきました。

第4回  
ワーキング

地域の声や地域の重点項目(最終案)を提示し、内容について意見をいただきました。

今回

アクションプログラム2023策定  
(令和5年3月予定)

## 「地域の声」「地域の重点項目」(最終案)の提示内容

## 1 地域の魅力や活力を高めるための道づくり

地域の交流人口の拡大を促し、観光振興の推進、経済活動の活性化、若者の定住等を促す道路整備の積極的な取り組みが重要です。具体的には、限られた路線に集中する交通の渋滞対策や、生活交通と通過交通の分離、福井方面との連携も見据えた交流ネットワークの構築など、より地域の魅力や活力を高めるまちづくりへとつながる道路整備の推進が必要です。

## 2 大規模災害を考慮した広域連携を支える道路網の構築

豪雪や地震等の大規模な災害は、市民の生活に大きな影響を及ぼすため、広域連携による避難・支援・復旧ルートの確保が急務となります。特に高島地域では、災害時の緊急輸送や救急搬送だけでなく日常交通や物流交通、観光交通についても国道161号への依存度が非常に高いため、当該道路が寸断された場合の代替路を確保し、災害時においても人・物資・情報の広域的かつ円滑な流れを構築できる災害に強い道路網の形成や整備が重要です。

## 3 安全・安心で魅力的な歩行空間の確保

誰もが安全に、安心して快適に移動できる歩行空間の確保が重要です。特に、高齢者や障害者・通学児童や園児も含めた子ども・観光客に対する安全確保、冬期の積雪対策、除草なども含めた適切な維持管理といった、地域の課題を踏まえた施策の推進が必要です。

## 4 住民が主体となった行政と連携・協働による道づくり

今後の道づくりには、住民の主体的な取り組みや地域の意見を計画に反映させるとともに、道路整備に関する取り組みについて広くPRしていくことも重要です。特に、道路の維持管理活動は、地域住民、行政（県・市）、警察などの交通関係機関等との連携・協働の強化など、協力関係の構築が重要であり、地域の誰もが「我が道」として誇りと愛着を持てる様な道づくりの推進が必要です。また、IoT等の高度情報通信技術の普及も視野に入れた、新たな情報発信のあり方についても、今後取り組んでいくことが望まれます。

## ワーキングでいただいた主なご意見

### ▶「地域の声」・「地域の重点項目」とりまとめ結果へのご意見

#### 【全体を通じたご意見】

- ・地域の声で大規模災害を考慮した代替路線などについても触れている。他の計画で進めている事業かもしれないが、もっと大きな事業も含んでいただけたらと思う。5年10年での実現性を考えると難しいかもしれないが、実情に合った計画になるのではないかとと思う。
- ・安全・安心の魅力的な歩行空間の確保として地域の声に挙げていただいているが、道路整備が進まないところもあると思うので、部署は違うかもしれないが、啓発などソフト面も進めていただきたい。
- ・安全・安心な道路空間に向けて、国道161号では危険な場所もいくつかあるので、他府県とも連携して整備をしてもらいたい。

### ▶客観的評価マニュアルによる事業の評価へのご意見

- ・挙がっている事業については、重点的に取り組んで、広く広報を進めていただければと思う。
- ・事業は時間がかかるものだと思うが、一つでも早く進めてもらいたい。限られた予算の中で何が大事かというのは難しいが、国から多くの予算を取っていただき、快適な道路を整備していただきたい。
- ・継続的に検討が必要な路線の項目を新たに設けたのは良い取り組みだと思うので、ぜひ掲載してもらいたい。また、既存路線のみの計画になっているので、長期的な視点で次のアクションプログラムでは新たな路線も検討していただきたい。

#### 【その他】

- ・地域ワーキングに参加するまで、このような形で住民の声を拾っていることも知らなかった。どのように情報発信しているのか教えていただきたい。
- ・計画を作るだけでなく、その後のPR方法について、時代に合わせてSNSを活用するなど、積極的に情報発信をしていくことが必要だと思う。
- ・道路は住民の生活に密着しているので、より多くの人に意見を聞くためにも、ワーキングニュースをチラシとして発行するなど、広く知っていただければと思う。また、道路整備では、中心部は整備が進んでいるが、山間部は遅れている。高島市は2/3が山間部になる。外部から高島市に来るのには山間部の道路が重要である。計画全体は素晴らしいとまとめているので、これをベースとして次なる道路につなげてもらいたい。
- ・住民の方にもっと関心を持っていただけるように、こういう機会をもっと多く持って、小さな声をとりあげていくことが必要だと思う。多くの人の意見が聞ける機会があれば良いと思う。
- ・高島地域の道路ネットワークには市道も含まれる。それも含んだネットワークをどう考えるのかも計画をどこかで示していただきたい。また、高島管内だけでなく、大津管内などの広域での道路整備についても連携して取り組んでいただきたい。
- ・交通安全協会などの関連団体が意見交換できると、外部からの情報も入るし、様々な意見が出ることで先手を打つことができる。
- ・メタセコイア並木は毎年渋滞している。観光地として、観光客に細い道を通らせるのは中途半端だと思う。せっかく良い観光スポットができていますので、将来的には、バイパス整備の検討をお願いしたい。
- ・道路ネットワークは、県だけでなく、国や市も含めたネットワークを十分に活かし、連携して進めていただきたい。
- ・高齢者でもわかりやすく矢印を引くとか、夜でも分かる標示をするなど、事故防止につながる道路にしていきたい。
- ・トラック協会などの運送業界の方も意見があると思う。全員の意見を取り込むのは大変だと思うが、部会を開催するなど、何か意見をいただく工夫を検討してもらいたい。



### ◆◆◆ 地域ワーキング委員(敬称略、五十音順) ◆◆◆

饗庭 正昭 [公募委員]

藤田 幸典 [高島警察署交通課 課長] (欠席)

今村 忠彦 [NPO法人SMSA 持続可能  
管理協会びわこ 理事長] (座長)

前川 為夫 [びわ湖高島観光協会 会長]

松本美和子 [介護保険認定審査委員]

小崎富美子 [高島交通安全協会 副会長]

介護保険事業計画等策定委員会 委員]

福田 久司 [高島市商工会 会長]

柳生 徹 [高島市都市整備部 部長]

滋賀県道路整備アクションプログラム 地域別アクションプログラム 高島地域ワーキング  
～高島地域ワーキングニュース～ 2023年2月発行

【編集・発行】 滋賀県高島土木事務所道路計画課

〒520-1621 高島市今津町今津1758 TEL:0740-22-6052 FAX:0740-22-3318

E-mail: ha37100@pref.shiga.lg.jp URL: <https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kendoseibi/douro/329350.html>

議事録URL  
はこちら

